

本物のタンゴを Valentine Tango Stage あなたに!



Enrique & Carolina



Pf Lin Yoshioka



Vn Naoko Kimura



Bn Syunji Hoshino



Cb Isao Otsuka

Cast

タンゴ・コケータ

吉岡 凛(ピアノ) 木村直子(ヴァイオリン) 星野俊路(バンドネオン)

ゲスト

大塚 功(コントラバス)

ダンサー

エンリケ・モラレス & カロリーナ・アルベリシ

ヴォーカル

ロベルト & MAKO



Vo Roberto



Vo Mako

タンゴの本場アルゼンチンでも高く評価されたタンゴユニット「タンゴ・コケータ」と、CM出演経験もある外国人ダンサー「エンリケ&カロリーナ」、ヴォーカル「ロベルト&MAKO」がバレンタインデーに情熱的でドラマティックなステージをお届けします。

2015.

2.14 Sat.

open: 14:30
start: 15:00

枚方市市民会館・大ホール

京阪電車枚方市駅下車徒歩3分 お車でのご来場はご遠慮ください。

【全席指定】S席 3,000円 A席 1,800円 ※当日は各500円増

就学前見の入場はご遠慮ください。

プレイガイド ◆枚方市市民会館 TEL. 072-843-1122 (電話予約可) ◆ひらかた観光ステーション TEL. 072-843-4125 (窓口販売のみ)

◆ローソンチケット TEL. 0570-084-005 (Lコード: 54922) http://l_tike.com

チケット発売日

一般: 12月24日(水) 財団友の会: 12月17日(水)

◎財団友の会は枚方市市民会館のみで販売いたします。

主催: イベント制作講座実行委員会、(公財)枚方市文化国際財団 協力: 枚方市

文化サポーター講座「イベント制作講座」関連事業

問い合わせ (公財)枚方市文化国際財団 TEL 072-843-1123 FAX 072-845-1896 (9:00~17:30 日・月・祝日休業)



Profile

Tango Coqueta タンゴ・コケータ

2004年、古典からモダンまでタンゴをこよなく愛するピアニスト吉岡凛をリーダーとし、オルケスタ・アストロリコで活躍する奏者とともに結成されたユニット。クラシカルでエレガントな佇まいと、情熱的かつダイナミックなサウンドに定評のある本格的タンゴ・バンドである。アルゼンチンにて様々なコンサートに出演した際には、繊細かつエモーショナルな熱演であったと大変高い評価を得て、タンゴ・マガジンの取材をうけるなどタンゴの本場ブエノスアイレスでも注目された。近年の日本国内の活動に於いても、朝日新聞主催アサコムコンサートの再演を希望するコンサートで一般投票1位を獲得し、再演の際は最多の来場者数を記録した。また地方自治体主催のコンサートでも、定員を超える観客動員数を記録するなど、非常に高い人気を博している。なお、ユニット名である『コケータ』とは、アルゼンチンの公用語であるスペイン語の『魅力的な女性』の意。バンドネオンの名演奏家、門奈紀生氏による命名である。



吉岡 凛 (ピアノ)

大阪音楽大学短期大学部卒業。幅広いタンゴのレパートリーを持ち活躍中。これまでに、地方自治体や朝日新聞社が主催するタンゴコンサート、ホテルでのイベント、ディナーショー等に多数出演。2002年よりタンゴピアノを「アストロリコ」のピアニスト、平花舞依氏に師事。2005年と2008年にタンゴの本場アルゼンチンに渡り、ホセ・コランジェロ氏、アベル・ロガンティニ氏、アナリア・ゴールドベルグ氏に師事。現地でのタンゴコンサートや有名ダンスサロン等に出演し好評を博す。ダイナミックで情感溢れる演奏には定評がある。本格的タンゴバンド、「タンゴ・コケータ」のリーダー。タンゴ界屈指のベーシスト、大塚功氏とのデュオ「タンゴ・デステージョ」のメンバー。吉岡凛HP www.lin-yoshioka.com



木村直子 (ヴァイオリン)

京都市立芸術大学卒業。テレビ西日本賞受賞。京都フィルで活躍後ウイーン市立音楽院に留学。2005年大阪室内楽コンクール&フェスタ、ファイナリスト賞受賞。現在、音楽企画集団音登夢(おととむ)主宰。タンゴユニットオルケスタ・アストロリコのメンバー。タンゴ・コケータでは2004年結成時から5年間在籍。2014年から期待の再メンバー。



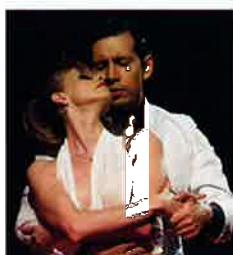
星野俊路 (バンドネオン)

19歳の時突然にバンドネオンを始め、元オルケスタティピカ東京の岡本昭氏、岡崎恵二氏にタンゴの基礎を学ぶ。都内ダンスホールなどで演奏経験を積み、24歳で京都に転居。アストロリコ門奈紀生氏に師事する。その後、「オルケスタアストロリコ」「アストロリコ6重奏」のメンバーとして活躍。現在では、ピアニスト吉岡凛をリーダーとした「タンゴ・コケータ」や、上田裕司氏の「タンゴ・ガルーファ」そして、自身プロデュースによるクラシックギターとのデュオ「タンゴ・グレリオ」など、様々なバンド形態でタンゴの魅力を伝えるべく活躍中。2010年から滋賀県へ移住し、琵琶湖とタンゴをこよなく愛する。

星野俊路 Blog <http://bandoneon.blog.shinobi.jp/>

ゲスト 大塚 功 (コントラバス)

大阪音楽大学卒。コントラバス奏者としてトップクラスのテクニックを修得し、併せて豊かな感性とリズム感でタンゴ・ジャズ・クラシックなど、様々なジャンルを弾きこなす逸材。「伝統的かつ現代的に洗練されたプレイセンスには揃ってたものがある！」と国内外より高い評価を得ている。



エンリケ・モラレス&カロリーナ・アルベリシ (タンゴダンサー)

アルゼンチンタンゴの本場、ブエノスアイレス出身。2009年『ダイハツタント』のテレビCMを機にパートナーとして活動を始める。その後、スケート日本代表選手の表現指導や、大使館や企業のパーティー、全国ツアーのコンサート、ファッションショーやテレビ番組等、日本各地で大活躍をしている。また、ボランティア活動として『タンゴセラピー』を広める等、タンゴを身近にする活動も積極的に行っている。2年に1度公演をしている、『ミュージカル TANGO MAGICO』ではタンゴと物語が融合したミュージカルとなっており、振付け演出等、全てを2人がプロデュースしている。流暢な日本語と明るく朗らかな人柄で、タンゴ講師として日本各地で大好評を得ています。

ロベルト&MAKO (ヴォーカル)

アルゼンチン出身のロベルト・デ・ロサーノは、15歳でプロデビュー。「コスミンフェスティバル」において最優秀歌唱賞を獲得するとともに、特別審査員賞を受賞。その後、アルゼンチン、メキシコ、日本で活躍。サッカー親善試合キリンカップではアルゼンチンの国歌を独唱し高評価を得る。約10年前から若年性パーキンソン病を罹患するが、持ち前の明るさを失わずに繊細な感情表現に磨きをかけてステージに立ち続けている。その情熱的で誠実な人柄に人気上昇中。ロベルトのパートナーであるMAKOは、彼を支えながらラテンデュオとしてショーやイベントなどで活動を開始。ふたりの息の合った歌声は「癒やしのラテン」として心地良い空間を作りだし、人気を得ている。



※この公演には、文化サポーター講座「イベント制作講座」を受講している市民がスタッフとして参加しています。